

検定試験の第三者評価 【簡易版】総括評価 評価結果

1. 対象検定試験 ところ検定
2. 実施運営団体 日本学会会議協力学術研究団体メンタルケア学会
3. 評価有効期間 2025年9月まで有効とする
4. 評価講評

●大項目Ⅰ 検定試験の実施主体に関する事項

検定試験の目的はHP等に明確に示されている。組織体制や各種規程は整っており、継続的・安定的に検定試験を実施できる体制が構築されている。新型コロナウイルス感染症対策に関しては、CBT試験及び準会場試験における試験会場に応じた対策が適用され、その旨がHPに公開されている。検定試験に関わる財務経理情報は他事業と区分され適正に運営されている。検定試験に関する情報は情報公開チェックリストに基づきHP等に公開され、個人情報保護方針も公開されている。事業計画に基づき各部署にて定期的に会議を開催してPDCAサイクルを回し、検定試験の運営に関して継続的に改善がはかられている。自己評価シートは毎年更新され、第三者評価の受審結果と共にHPに公開されている。

●大項目Ⅱ 検定試験の実施に関する事項

検定試験の審査基準、受検手続き、スケジュール、照会窓口等の検定試験実施に関する情報はHP等に公開されている。検定試験はCBT方式で実施され、受検日は受検者の利便性を考慮して約1か月の試験期間から任意の日を選択することができる。専門家によって構成された試験委員会で試験問題等の作成や難易度の水準調整を実施し、適正な問題作成に努めている。検定試験が教育機関でカリキュラムの一環として導入されるケースもあり、文部科学省の定める学習指導要領に準拠している。検定試験実施体制はCBT試験を前提として整えられており、新型コロナウイルス感染症対策が適用されている。

●大項目Ⅲ 検定試験の試験問題に関する事項

検定試験は各級ごとに心理学及びこころ教育を学ぶ上で必要と考えられる分野から出題されるように設計されている。実技・口述試験に関しては、複数評価者により、公平な評価が行われるように配慮されている。評価終了後に評価結果を踏まえて試験委員会において試験問題・解答、合否基準の適切性等を検討しており、継続的に改善する体制が整えられている。

●大項目Ⅳ 継続的な学習支援・検定試験の活用促進

検定試験の結果を証明する合格証及び受検結果のスコアシートが発行される。受検結果のスコアシートには各級で獲得した知識・技能及び今後の学習の参考となるように分野別正解率が記載されている。各級で獲得した知識・技能についてはHPにも公開されている。CBT 試験の性質上、過去の試験問題は公開されていないが、学習支援のためにHP等に類似問題が公開されている。HPに合格者の声や合格後の活用事例を公開している。

5. 評価得点

大項目	得点率
I 検定試験の実施主体に関する事項	100%
II 検定試験の実施に関する事項	100%
III 検定試験の試験問題に関する事項	100%
IV 継続的な学習支援・検定試験の活用促進	100%
合計	100%